



## 公営企業会計

民間企業と同じように、サービスの提供で収入を得て、その収入で支出を賄う会計です。水道・下水道・病院の3つの企業会計があります。

### 病院事業

収益的収支	収入	67億3,848万円
	支出	67億4,075万円

資本的収支	収入	3億4,498万円
	支出	8億5,676万円

内部留保資金残高 6億7,978万円

- 市民病院入院患者数… 4万3,695人 前年度比 1,421人減。
- 市民病院外来患者数… 13万9,199人 前年度比 5,426人減。
- 泉郷診療所外来患者数… 606人 前年度比 84人減。
- 支笏湖診療所外来患者数… 659人 前年度比 8人増。

《内部留保資金残高》とは  
内部留保資金は、過去からの利益（黒字）の蓄積によって生じた資金で、事業運営に必要な運転資金になります。

### 下水道事業

収益的収支	収入	35億5,008万円
	支出	33億4,695万円

資本的収支	収入	10億6,182万円
	支出	20億224万円

内部留保資金残高 24億3,324万円

- 排水戸数… 4万3,997戸 市が下水道の処理を行う区域の戸数。前年度比 466戸増。
- 総処理水量… 1,975万9,634m<sup>3</sup> 処理した下水の総水量。前年度比 2.42%増。
- 有収水量… 1,435万9,159m<sup>3</sup> 総処理水量のうち、下水道使用料収入が得られる水量。前年度比 1.89%増。
- 有収率… 72.67% 総処理水量に占める有収水量の比率。高いほど良好な状況を示す指標。前年度比 0.38ポイント減。

### 水道事業

収益的収支	収入	23億681万円
	支出	21億8,504万円

資本的収支	収入	4億2,672万円
	支出	12億7,772万円

内部留保資金残高 8億3,426万円

- 給水戸数… 4万4,805戸 市が水道水を供給している戸数。前年度比 468戸増。
- 総配水量… 1,204万8,061m<sup>3</sup> 市内に送り出された総水量。前年度比 0.40%減。
- 有収水量… 1,163万8,967m<sup>3</sup> 総配水量のうち、水道料金収入が得られる水量。前年度比 0.06%増。
- 有収率… 96.60% 総配水量に占める有収水量の比率。高いほど良好な状況を示す指標。前年度比 0.43ポイント増。

《収益的収支》  
1年間の事業活動で得られる収益と費用を損益計算の形で表すもの。

《資本的収支》  
1年間に支出した施設の建設経費（借金返済を含む）と財源収入。

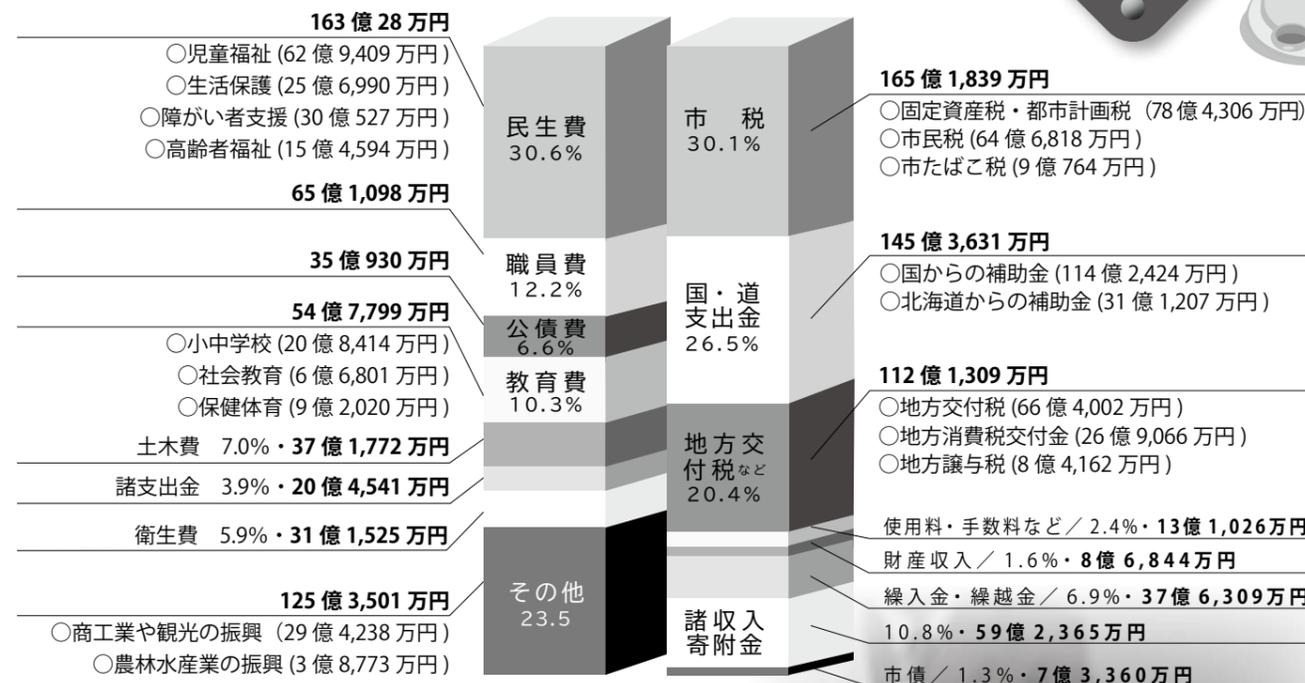
## 一般会計

福祉や教育、消防など市が行う行政運営の基本的な経費を経理する会計です。

歳出決算 532億1,194万円

歳入決算 548億6,683万円

※ 内訳には、主な項目を掲載しています。



## 特別会計

保険料など特定の収入を財源に特定の事業を行い、一般会計とは別に経理する会計です。6つの会計ごとに事業をやりくりしています。

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険（国民健康保険事業を運営するための会計）	77億8,350万円	77億7,927万円	423万円
土地取得事業（公共施設用地をあらかじめ取得するための会計）	50万円	0万円	50万円
公設地方卸売市場事業（公設地方卸売市場を運営するための会計）	1億873万円	1億857万円	16万円
霊園事業（霊園の用地取得や管理運営のための会計）	2,417万円	2,377万円	40万円
介護保険事業（介護保険事業を運営するための会計）	55億5,064万円	55億285万円	4,779万円
後期高齢者医療（後期高齢者の医療保険制度のための会計）	12億2,438万円	12億1,776万円	662万円
合計	146億9,192万円	146億3,222万円	5,970万円

## 財政健全度を判断する指標

- 平成20年から《財政健全化法》により、全国の地方公共団体は、毎年度、財政の健全度を判断する指標を算定し、公表しています。
- 5つの指標のうち、1つでも市の比率が国の基準比率を超えた場合、計画的な健全化・再生が義務づけられます。
- 早期健全化の基準を超えると、《財政健全化団体（破綻の一步手前）》に、財政再生の基準を超えると、《財政再生団体（破綻）》となります。
- 実質赤字、連結実質赤字が生じていない場合および将来負担比率が算定されない場合は「-」で表示しています。

指標	市の比率	国の基準比率	
		早期健全化	財政再生
健全化判断比率 実質赤字比率	-	12.06%	20.0%
連結実質赤字比率	-	17.06%	30.0%
実質公債費比率	7.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	-	350.0%	-
資金不足比率	該当なし	20.0%	-

市の財政に関する詳細は  
総務部 財政課 財政係  
☎(24)0541 ☎(22)8854

●令和4年度の決算状況は、すべての指標において、健全な水準にあるといえます。市は、引き続き健全な財政運営を進めます。

ちとせ市民応援商品券  
2022 発行事業

9億6,558万円

新千歳空港活性化・利用促進事業

4億8,363万円

R4年度  
**主要事業**  
プライベート

8,365万円

住民非課税の高齢者および障がい者世帯への生活支援金支給事業

7,442万円

街路灯 LED 化整備事業

**まちの借金**  
R5.3.31 現在

市が一度に多額のお金を必要とする事業に認められる《市債》です。道路や学校の建設や、災害復旧などに限られています。

**市債の状況**

一般会計の借入	301億5,443万円
特別会計の借入	7,010万円
公営企業会計の借入	201億6,525万円
合計	503億8,978万円

**まちの財産**  
R5.3.31 現在

**土地・建物**

《普通財産》のほか、市が使用する《公用財産》、市民が使用する《公共用財産》とに区分します。

財産区分	土地	建物
行政財産	1,276万3,451㎡	47万3,673㎡
公用財産	189万8,777㎡	5万5,858㎡
公共用財産	1,086万4,674㎡	41万7,815㎡
普通財産	419万7,430㎡	1万2,045㎡
合計	1,696万881㎡	48万5,718㎡

**有価証券**

35億2,855万円

**出資による権利**（団体への資本金）

2億1,519万円

**基金**（事業資金の積み立てなど/全19基金）

206億4,237万円

○財政調整基金 ○農業振興基金 ○奨学基金 ○公共施設整備基金 ○国民健康保険事業財政調整基金 ○土地開発基金 ○みんなで、ひと・まちづくり基金 ○減債基金 ○地域福祉振興基金 ○霊園管理基金 ○ふるさと千歳国際交流基金 ○職員退職手当基金 ○介護保険事業給付費準備基金 ○心のふるさと千歳基金 ○特定防衛施設周辺整備調整交付金基金 ○公立千歳科学技術大学施設整備基金 ○森林環境基金 ○空港を核としたまちづくり基金 ○教育情報機器整備基金